

平成 25 年度第 3 回北海道ブロック協議会
第 3 回北海道代協理事会
議 事 録

平成 25 年 10 月 18 日(金) 13:00~17:00

於：ノボテル札幌

出席者

日本代協理事	木内 彰		理事	佐々木彰夫	室蘭	理事	通岩 稔	釧路
日本代協理事	山口 史朗	札幌	理事	坂本 信一	旭川	理事	深井 弘美	帯広
日本代協理事	梅澤 悦郎		理事	山本 仁	旭川	監事	木下 裕章	小樽
会長	山崎 善仁	札幌	理事	高橋 章哲	旭川	監事	本村 宏文	千歳
副会長	羽山 和広	帯広	理事	根布 匡章	小樽		澤田 憲孝	帯広
副会長	松浦 則雄	函館	理事	古宇田 渉	苫小牧		寺本 朋史	札幌
副会長	佐々木雅之	札幌	理事	水嶋 章司	千歳		見上 峰夫	札幌
副会長	寺田 賢	旭川	理事	小野 修	函館		町野 泰明	札幌
専務理事	赤山 登	札幌	理事	大橋 敏	函館		嶋田 拓馬	札幌
常務理事	富谷 則文	札幌	理事	濱中 公也	函館		梅基 伸男	札幌
理事	田中 幹	札幌	理事	吉田 和彦	釧路	事務局	藤田 和代	
理事	川口 直一	札幌	理事	大高 喜弘	釧路			

司会 専務理事 赤山 登

1. 開会の辞(佐々木雅之)

2. 北海道代協会長挨拶(山崎善仁)

平成 25 年度も半ばを過ぎました。よりよい北海道代協を作っていくための活発な議論をお願いいたします。

3. 日本代協常任理事挨拶(木内彰)

日頃の代協活動に対するご協力をたいへん感謝いたします。後半戦に向けての実りある会議となるようにして下さい。

4. 倫理綱領朗読(田中幹)

5. 議長選出

議長には羽山和広副会長が指名され、承認を得た。

6. 議事録署名人の選出

議事録作成者：富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に田中幹理事(札幌)、川口直一(札幌)各氏が指名され了承を得た。

7. 議 事

[I] 報告事項

(1) 日本代協理事会報告

<木内彰>

- ・資料P 13～17に日本代協ニュースを添付してありますので、詳細はそちらに載っておりますので熟読しておいてください。認定保険代理士および代協正会員バッジの件は複雑な点があるが、現在検討中の状況です。

(2) 日本代協ブロック長懇談会報告(山崎善仁)

- ・47都道府県の各ブロックの取組み状況発表がなされ、北海道については札幌支部のランチミーティングと釧路支部の舟漕ぎ大会出場を報告しております。
- ・資料P 18～21に荻野名誉会長のWG参加関連のインタビュー記事を付けてますので、参考にしてください。

(3) 日本代協各委員会報告

I、組織委員会（伊藤委員長不在にて寺田副会長が代理報告）

第3回組織委員会にて、組織率の問題が出たが、北海道の34.3%という数字はまだまだ低いとの認識を持ち今後会員増強に取り組んでいただきたい。

II、CSR委員会（山本仁）

来週23日に次回会議が開催予定です。グリーン基金の公募が10月よりスタートしましたので、ぜひ北海道からも応募してください。

III、教育委員会（山崎善仁）

前回理事会にても注意喚起しましたが、損害保険プランナーへの移行認定申請が、北海道にても未だ未申請者がおり支部にても充分注意するよう願います。

IV、企画環境委員会（吉田和彦）

代理店賠償の北海道加入率77.7%はセミナーの開催等により間違いなく上げていくことのできる数字ですので、各支部が工夫を凝らして取り組んでください。

V、広報委員会（嶋田拓馬）

9月27日に第3回委員会が開催されました。みなさまの保険情報購買状況は北海道にては10店の現状で後程詳しく説明がありますが、募集活動に活かせる内容のものでから検討してみてください。

VI、ビジョン委員会（佐々木雅之）

代理店制度を今後どのように守っていくかにつきましては、世の中特に消費者における我々の存在価値を高めていくことに尽きると思います。代協はそのための助力となりえる方向を目指して進歩していかねばいけません。

VII、政治連盟（梅基伸男）

P 6に現在の支部別納入状況を載せてあります。札幌と函館が順調に進捗しておりますが、その他支部も締切りが12月ですのでご了解・協力願います。

(4) 損保協会北海道支部との定例懇談会報告（山崎善仁）

10月10日損保協会との定例懇談会にて、近々に北海道代協より各社本部窓口を訪問して以下の事項に対する協力依頼をすることを約定しました。

- ・ 会員増強協力 ・ 国民年金基金協力 ・ 損害保険大学課程推進 ・ 災害体験セミナー
- 共同開催協力 ・ 旧特級資格者の損害保険プランナー移行手続き

本部より各支店、支社へ上記事項の伝達を必ずしていただく様にも依頼いたしますので、代協各支部もこれを最大限に活用すべく、保険会社とのコミュニケーションを密接に取ってください。

(5) 各支部活動報告

各支部の活動については会議資料P 8～P 12 参照（特筆・変更点は以下のとおり）

- ・ 札幌支部—ランチミーティングは10グループ6会場にて実施
- ・ 小樽支部—遅れたが、9月に総会終了
- ・ 函館支部—11/19 支部セミナー実施予定なので参加協力を依頼
- ・ 釧路支部—舟漕ぎ大会は好評により来年もできれば参加したい
- ・ 帯広支部—10/25 旭川、釧路との共同主催にて<活力研セミナー>を実施しますので各支部よりの参加を募る

(6) 北海道代協各委員会報告

各委員会の活動状況につき各委員長より口頭簡易報告がされる。

(7) 会費検討委員会報告(佐々木雅之)

9月27日に委員会開催。2年後の会費統一を決定すると共に本部自体の経費削減（役員数の削減、会議方式の変更等）への取組みが審議された。

(8) 日本代協北海道ブロック人材育成研修会報告(佐々木雅之)

9月27、28日に各支部の会員参加のもと有意義な研修会が実施できた。参加報告書の提出は今月末までとなっております。

(9) 日本代協広報委員会から(梅澤悦郎)

日本代協広報委員会は全国各地の会員8名により組織されており、
・ 日本代協および認定保険代理士の効果的な対外PR実施
・ 消費者団体、業界、有識者との関係構築
・ お客様向け情報誌の活用推進
・ 日本代協HPの運営 に取り組んでいる。

本日は特に「みなさまの保険情報」の有効的な活用を当会参加者に充分理解していただくために来札いたしました。

この後、配布資料、回覧資料を参照しながら「みなさまの保険情報」について詳細説明がされた。

[II] 審議事項

(1) 会員増強(川口直一)

今年度の新規入会会員 85 名の目標に対し、現在 12 名の現状を発表するとともに、各支部目標の再確認と保険会社との間・支部間での積極的な情報提供をやり取りし年度末目標の完達を審議願う。

山口日本代協組織委員長発言一代協の各方面への影響力は増してきているものの、現在の会員数、組織率で満足できるものではなく、まずは全国 12,000 店・専門組織率 50%その後全業種代理店での組織率 50%を代理店制度存命のためにも実現していくべきである。

*議長採択をとり**承認可決**

(2) 損害保険大学課程コンサルティングコース募集 (山崎善仁)

10 月 1 日より募集開始されている損害保険大学課程受講者の北海道自主目標 44 名を現状大きく下回り、危機感を抱いている。代協会員とくに若手会員には早期に取得いただきたいし、必ず支部よりも声掛けをしていただきたい。

*申込促進につき議長採択をとり**承認可決**

(3) 役員選考等(山崎善仁)

透明性を持った北海道代協を目指す意味でも、前回改選時には選考委員会を設立したが、名ばかりのものになり現実的ではないとの意見も多数あった。以下の項目に対しこの場で皆様のご意見・ご要望をお伺いしたい。

- ・支部会員数割での理事候補者の選出はそのままよいか。
- ・副会長は支部長との兼任を極力避けていただきたい。
- ・支部長は理事であっていただきたい。
- ・日本代協への委員輩出について

(各支部意見)

旭川支部一副会長、支部長の兼任は支部構成上問題なければかまわないと思う。

函館支部一兼任はかまわない。各支部よりの理事選出者の可・不可は最高裁裁判長方式を導入してみてもいかがか。理事数は現在のほぼ半数に減らしてもよいのではないか。

釧路支部一理事数については減員してもよいと感じる。

執行部一副会長は北海道代協執行部当事者そのものであり、支部代表の支部長とは意見対峙することも少なからずありえることで、立場上やり難いのではと考える。また、理事数の極端な縮小は活動活発化を進めている上で、支部会員との意思疎通上危機感を覚える。

議長よりこの場での決定は困難なため、意見集約をし、以降正副会長会議および次回理事会へ持ち越すことを提案。

*議長採択をとり**継続審議**

(4) 支部活性化 (山崎善仁)

支部再編について組織委員会で今後検討、研究していくことへの承認をいただきたい。

(意見) ・小支部の活動状況を考えると統合もやむなしと思える。 ・現状にて不自由なし。 ・一気に統合という型ではなく、活動の共有グループ化をとった方がスムーズに進むのではないか。 ・会員数ではなく支部活動の内容を重視すべきで、満足な活動が不可能であれば統合もやむおえない。

*今後組織委員会と正副会長会議が連携をとり進めていくことで承認可決

(5) CSR委員会 (議長)

当議案は委員会報告にて説明、依頼済のため省略される。

(6) 国民年金基金 (山口史朗)

加入目標数4名に対し、現在の加入者はなし。北海道の割り当て分は最低でもクリアしていただきたい。

*加入推進につき議長採択をとり承認可決

(7) その他

その他審議事項はなし。

[Ⅲ] その他

○山本仁氏より ・理事会審議事項については支部にて充分意見交換をした後発表をしたいので、できるだけ早めに執行部より各支部へ伝達いただけないか との要望あり。

山崎会長返答—決定している審議事項は1ヶ月前を目処にお知らせするよう努力いたします。ただし、理事会直前に判明する事項も多々あるので、それについてはご容赦いただきたい。

8. 監事講評(本村宏文)

組織率の向上、会員増強について重きを置いているが、所属会員が今一番関心のある代手ポイント・今後の経営問題等に対し北海道代協がどれだけ関心を持ち会員のために取り組んでいけるかが今後の組織存命におおきく係わっていくように感じます。なんとか、業界自体もよい方向に向かい、若い世代の人たちが参加、継承していけるような業界となるよう代協がその一役を担えればと思います。

9. 閉会の辞(寺田賢)

議事録作成者 富 谷 則 文
議事録署名人 田 中 幹
議事録署名人 川 口 直 一